

奈良の駅 シリーズ Vol.12



こおりやま  
駅名：JR 郡山 駅



JR 郡山駅舎 外観 (現在)



JR 郡山駅舎 外観 (1989年)

【駅舎概要】

所在地：大和郡山市高田口町 104-1  
 区域区分等：商業地域  
 構造・規模：鉄骨造  
 建設時期：昭和 15 年

【沿革】

明治 23 年 (1890) 12 月：関西鉄道  
 の駅として開業。  
 明治 40 年 (1907) 10 月：国有化  
 昭和 24 年 (1949) 6 月：日本国有鉄  
 道 (国鉄) が発足  
 昭和 62 年 (1987)：国鉄分割民営化  
 により、JR 西日本の駅となる。  
 昭和 63 年 (1988) 3 月：「大和路線」  
 の愛称を使用開始。  
 平成 9 年 (1997) 2 月：橋上駅舎使用  
 開始

駅シリーズ第 12 回は、奈良環状線の郡山駅です。

大和郡山市の中心市街地北部にあり、郡山市役所には徒歩 10 分程度の立地です。JR 郡山駅は、JR 西日本の関西本線 (大和路線) の駅で、多くの場合「郡山駅」と呼ばれ、近鉄郡山駅 (近鉄橿原線) と区別されています。

■歴史・周辺環境

大和郡山北部は、江戸時代に築城された郡山城の城下町の名残がある地域です。また、郡山駅周辺は、かつてニチボー (現・ユニチカ) の紡績工場があり、周辺はメリヤス関連の産業が栄えていました。ニチボーの郡山工場跡地は、現在は UR 都市機構の住宅団地となっています。

現在の郡山駅周辺には、交番、コンビニ、スーパー、クリニックなどがあり、市民が利用できる市民交流館には観光協会も併設されており、レンタサイクルが提供されています。

2010 年にイオンモール大和郡山が開業し、イオンモール行きのバス乗り場としても活用されています。

■近年の地域での動き

2011 年に、奈良・町家の芸術祭「はならあと」の開催地の一つとなり、郡山駅周辺の空き町家が、アートの展示会場に活用されました。当時、地域内外から、まちづくりに関心がある多様なプレイヤーが集まり、「はならあと」後も、空き家の利活用の機運が継続しました。



リノベーション第1号の  
飲食店 (郡山支部の拠点)



マーケット「大和是好日」

その後、大和郡山市により、「リノベーションまちづくり」の方針が掲げられ、まちの遊休不動産を活用したまちづくりが動き出しました。

その取り組みの中で、有志が集まり、2020 年に「大和郡山まちづくり株式会社」が設立され、空き家を店舗や貸スペースにリノベーションする事業を本格的に始動しました。最近では、行政や民間団体及び地域の事業者が連携して、「大和是好日」というマーケットが定期的開催され、新たな賑わいを創出しています。

【記：郡山支部 本多健一】

2月4日に教育事業委員会主催の低コスト耐震改修工法セミナーが開催されました。

当工法は名古屋工業大学大学院の井戸田秀樹先生が開発された工法で、一般的な工法とは異なり、既存の壁や床、天井をできるだけ壊さずに耐震補強をする工法です。

今回、名古屋工業大学客員教授の川端寛文氏を講師にお招きし、動画などを交えながら、約4時間の講義がありました。50名余りの参加者があり、低コスト耐震改修工法への期待と関心の高さに驚かされました。



7つの鉄則というテキストを使いながら、今後、30年で70～80%の確率で起こるであろう海溝型の地震に備え、関心の少ない家主をいかにその気にさせ、行政も巻き込んだネットワークを作り、設計士、施工者が良い形で参加し、いかに仕事につなげていくかという内容の講義を、高知県での成功事例を紹介しながら説明していただきました。特に講義名にもあるように安価な耐震改修技術を習得することで、家主の負担を減らしていくという点において、とても勉強になりました。

耐震改修においては、最初に耐震診断を行います。この工法では「一般診断法」だけではなく、「精算法」、「偏心率計算」、「N値計算」を実施し、診断の評点を上げるために過剰な耐震補強をしていたものを、必要な補強設計をしていくことにより、工事金額を減らす設計が出来ます。講義の中では、事例を交えて、天井や床を解体せずにできる耐震補強や、N値計算をすることで、金物工事だけで済む補強設計のテクニックなどの紹介がありました。

私見ですが、奈良県は大きな災害が少ないので、どうしても耐震補強の関心が少ないような気がします。我々建築士が、意識を高めこのような技術を習得する努力をしていくことで、奈良県の被災防止に役に立てれば良いなと思いました。

【記：教育事業委員会 吉川潤一】

3月6日に天理市の公立小学校で出前授業（下記の学習①、②）を開催しました。（参加者：五年生40名、教職員5名、講師3名、建築士会15名）

学習①は、持続可能な社会へ向け、完成間近である新ごみ処理施設「やまとeco」について、実際に工事に携わったJFEエンジニアリングの担当者をゲスト講師として迎え、クイズ形式で楽しく学ぶことができました。4月下旬には最後の工事現場見学会を予定しています。

学習②では、さらに持続可能なまちを目指して、天理市の取り組み「みんなの学校プロジェクト」をテーマに、建築士と児童が6つのグループに分かれ、「どうすれば小学校が地域みんなの場所になるか」について、グループワーク形式で考えました。



限られた時間でしたが、宿題の事前調査シートをもとにアイデアを出し合い、わずか60分間で成果物を仕上げ、その後、発表会を行いました。児童の感想文を読むと、単に自分の好きな空間にするのではなく、誰かのために動線や配置をデザインする難しさと面白さを味わってもらえたようで、ホッとしています。

それぞれ担当した建築士のスタイルが色濃く出ており、どのグループでも「建築士ってスゴイ」という感想をいただきました。最後に撮った記念写真もみんな「イィィ」顔をしています♪

また、公立小学校の授業として開催したことにも大きな意味があると感じました。個々の家庭環境や興味関心、学力にかかわらず、質の高い教育をみんなで体験することができました。

児童達と作り上げた成果物が、次につながるモノになれば幸いです。仮に、近い将来この小学校の複合施設化が現実となるならば、それに携わる設計者が必要とする資料（地域の声を児童と建築士がまとめた設計要件）のようなモノになることを期待しています。



【記：天理支部 桑原正弘】

3月27日にマイクロバスにて話題の建築物を見学に行きました。

まず「川上村立かわかみ源流学園/やまぶき保育園」を訪問し、川上村林業建設課参事上田一仁氏の説明を聴き、その後施設内を見学しました。もともと別々の場所にあった小中学校、保育園を一箇所に統合し、保育園を併設した義務教育学校として令和6年4月に新しく開校した施設です。

地域の財産を後世に残すことを考え、地元の杉と桧をふんだんに使い、一部はRC造としたものの木造3階建て延べ面積3,215.42㎡の立派な施設となっております。

村産材を確実に使用するため、材工分離発注方式で施工されました。見た目にも美しい木材に囲まれて、学ぶ教育環境は羨ましく感じます。



川上村立かわかみ源流学園/やまぶき保育園

次に下市町の小学校を再活用した商業施設「KITO FOREST MARKET SHIMOICHI」を見学しました。こちらでは事業主の平野孝嘉氏から、この施設ができた経緯と今後の展望についてのお話を伺いました。

創業者が下市町の生まれであったことが、この地に施設の運営をするきっかけとなり、町民とタウンミーティングを重ね「下市に来たくなる理由を作ろう」というコンセプトで名産の木工品・果物・葉草を始めとした直売所兼貸しオフィスとして運営されています。

既に3階のシェアオフィスは人気のため満室だそうです。30歳から40歳代の女性をメインのターゲットにしているそうで、昼食で食べたレストランのピザやパスタはとても美味しく、人気のスポットになる理由がよくわかりました。



KITO FOREST MARKET SHIMOICHI

今回は、吉野支部から2名、奈良支部から1名の会員も参加され、有意義な見学会になりました。

【記：高田支部 吉田泰造】

2月1日に近畿建築士会協議会青年部会主催の研修事業を行いました。研修委員会では、若い世代の参加を今年度の目標とし、9か月ほど前より準備を進めてきました。検討を重ねる中、デザインに焦点を当てるという方針が定まり、建築とデザインの「協働」をテーマに据えました。建築士としてのスキルだけでなくデザイン力があり、若い世代からも支持を集めている今津康夫氏(ninkipen! 一級建築士事務所 主宰)にご講演をお引き受けいただき、今津氏の講演会を軸とした企画にすることが決定しました。

午前の部として、今津氏設計の「突板のギャラリー」の見学会を行いました。この建物は、天然木の突板を製造する安多化粧合板株式会社のギャラリーであり、今津氏のお話だけでなく、施主である安多茂一氏のお話も伺うことができました。大胆な架構の細部にこだわりが見られ、構造美、素材美を感じる空間でした。また、外構を手がけた辰己耕造氏(green space)の解説を聞きながら建物の外周を巡り、建物の魅力を引き出す植栽の力を改めて感じました。

午後の部の前半は「モノ・コト・空間 — ninkipen! 今津康夫の仕事 —」と題し、講演会を開催しました。今津氏の転機となった作品、デザイナーの方々との協働で創られた作品などを時系列で追いながら、各々のエピソードを交えてお話いただきました。親しみやすいトークで参加者を惹きつけてくださいました。

後半は今津氏と共に空間を創り上げてきた方々との座談会。ファシリテーターに長坂純明氏(ひとともり一級建築士事務所)、ゲストに、前述した安多氏、照明デザイナーの永富裕幸氏(NEW LIGHT POTTERY)、布を用いた空間演出家の山本紀代彦氏(fabricscape)を迎え、5名で行いました。長坂氏のスムーズな進行のもと、皆様、思い思いに魅力あるトークを繰り広げてくださいました。登壇者の方々の親交の深さが伺える、楽しく軽快なトークセッションとなりました。

登壇者の皆様、関係者の方々のご尽力により、すべてのプログラムが素晴らしく、有意義な時間となりました。また、多くの方々にご参加いただき、活気のあるイベントとなりました。皆様に支えられ、無事に事業が開催できたことを心より感謝申し上げます。



登壇者、関係者の方々と青年部会メンバー

【記：近畿建築士会協議会青年部会 研修委員長 藤見昶夫】

## お知らせ

### ●令和7年度通常総会の日程

日時：令和7年5月16日（金）  
 （総会） 16：30～17：30  
 （懇親会） 18：00～20：00

場所：ホテルリガール春日夜野

議事：令和6年度事業報告及び決算について  
 令和7年度事業計画及び予算について 他  
 ※正会員の皆様は、ご案内しております出欠表をご提出頂きますようお願いいたします。  
 欠席される場合は、必ず委任状をご提出頂きますようお願いいたします。

### ●年会費納入のお願い

本年度会費につきまして、未納の方は速やかにお手続き頂きますようお願いいたします。

### ●「建築甲子園」で奈良商工高校が奨励賞受賞

（公社）日本建築士会連合会主催の2024年第15回高校生「建築甲子園」が「地域のくらし-まちに住む・地域に開く戸建の住まい」をテーマに開催されました。本県では、県内選考を経て本選に送付された県立奈良商工高等学校建築工学科の作品が審査の結果、奨励賞を受賞されました。



### ●入会

國本 暁彦 様（奈良支部）  
 原 将信 様（奈良支部）  
 西岡 大佑 様（桜井支部）

よろしくお願いたします。

## 編集後記

ワーク・ライフ・バランスについて考えてみた。昨今、政府の働き方改革の号令の下、世間では労働時間の縮小や職場環境の改善などが進んでいる。週休3日なども耳に挟む。労働時間が少なくなった分、プライベートライフが充実し、健康増進のためのスポーツへの取り組みなど、今までできなかったことができるようになり、良い傾向だと思う。良い方向へ向いているとは思のだが、仕事をしていてよく感じるのは、業界全体の生産性についてである。分野によると思うが、建築士の仕事は機械的に物を生産する要素よりも、考えたものを形にするという側面が強い。建物の設計をやっていると、法令上・技術上、どうしても妥協や調整をしないといけない場面が出てくる。こういうことを考えていると仕事から帰るのも忘れてしまう。「定時なんで、じゃあ！」という訳に

は行かない。こういう業界は結構多いと思う。ワーク・ライフ・バランスを実現するには生産性を下げるしかないところも多いだろう。改革ができる業界・できない業界があって、職場環境などの優劣に業界間での格差が生まれる。この格差が建築業界に若い世代が参入する障害にならないだろうか。すこしネガティブ論だが、特に設計事務所は労働時間が長いことで知られていて、よっぽど建築が好き人でない限り好んで志願しないんじゃないかかかかってしまう。こんな悪循環が今後さらに増しそうで不安なのである。日本の人口減少が叫ばれるなか、次の世代の日本を築く若い皆さんに建築設計業界に関心を持っていただく方策を考えていかねばと思う。

【記：情報・広報委員 松田輝明】

5月 16日（金） 令和7年度通常総会  
 21日（水） 監理技術者講習

6月 25日（水） 建築士定期講習（事務所協会）  
 29日（日） 建築士の日 記念事業

## 士會奈良

通巻661号

令和7年5月1日（発行隔月1回1日発行）

発行所 一般社団法人 奈良県建築士会  
 〒630-8115 奈良市大宮町2丁目5-7 奈良県建築士会館  
 電話：0742-30-3111 FAX：0742-33-4333  
 WEBサイト：<https://nara-kenchikushikai.or.jp/>  
 e-mail：info@nara-kenchikushikai.or.jp

発行責任者 中尾七隆  
 編集 (一社) 奈良県建築士会 情報・広報委員会



## 情報・広報委員会

委員長 伊藤 吉郎  
 副委員長 小西 直樹 福田 成生  
 委員 吉村 晃人 本多 健一  
 高杉 明 永友 翔  
 松尾 憲治 上柿 範兼  
 吉田 泰造 松田 輝明  
 小松原寛俊 大和 良樹  
 押部 誠



1級建築士 合格実績 No.1

令和6年度 1級建築士 学科・設計製図試験

関西エリア 2府4県 大阪府・京都府・兵庫県・滋賀県・奈良県・和歌山県  
 ストレート合格者占有率

68.9%

関西エリアストレート合格者 183名中 / 当学院当年度受講生 126名

※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。 ※総合資格学院の合格実績には、模範試験のみの受験生、教材購入者、無料の夜校提供生、過去受講生は一切含まれておりません。 ※都道府県ストレート合格者数は、(公財)建設技術教育普及センター発表に基づきます。 ※学科・製図ストレート合格者とは、令和6年度1級建築士学科試験に合格し、令和6年度1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。(令和7年1月15日現在)

無料ガイダンス・体験講座 随時受付中!! 1・2級建築士 1・2級施工管理 宅建士 設備士



総合資格学院

奈良校

奈良県奈良市西大寺堂町3-27 泉谷ビル 4F

TEL: 0742-30-1511

株式会社総合資格の人材サービス

総合資格navi

(新卒採用)お問合せはこちらのQRから▶

